

※ 今週のアウトルック (3/7~3/11)

先週は金曜日に米国雇用統計の発表を控え、比較的小動きな展開となりました。米国雇用統計の数字が良好なものであったため、ドル円は一時的に円安に振れる場面もありましたが、その後は円高に戻してそのままNY市場を終了しています。

一方、クロス円はNYダウや原油先物価格の上昇を受けて、円安に振れる通貨が多くなっています。今週は、全般的に円安の緩やかな追い風に乗る可能性が強うように思いますが、ドル円は強いレジスタンスの壁に、阻まれてしまう可能性がありそうです。

先週のドル円は、米国雇用統計の良好な結果を受けて、一時114.2円付近まで上昇する場面もありましたが、NY市場の終わりまでには113円台後半まで戻して終了しています。

今週は、このところのレジスタンスとなっている、114円後半を破ろうとする動きが出てくる可能性も十分考えられますが、115円を突破するにはまだ材料不足のような気がします。次の材料が出てくるまで、レンジ内の動きとなる可能性が高いように思います。

ドル円の予想レンジは112円から115円です。

先週ユーロ円は、株価や原油先物価格の上昇に伴うリスクオンムードの高まりから、円安に振れて125円を突破してそのまま週末を迎えています。

今週は、この円安傾向がある程度続く可能性が高そうですが、次のレジスタンスを突破する可能性は幾分低いように思います。

ユーロ円の予想レンジは123円から128円です。

ポンド円もリスクオンムードの高まりなどから、円安傾向が強くなっています。ただ、今週165円付近のレジスタンスを突破する可能性は五分五分といった所のように思います。

ポンド円の予想レンジは156円から170円です。

今週は、米国雇用統計の良好な結果や、NYダウ、原油先物価格の上昇を受けて、円安傾向が幾分強まりそうですが、まだまだ、株価や原油価格も不安定要素も多いため、急落の可能性も十分に考慮する必要があるように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。